

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	SEDスクール京都竹田		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 15日		2024年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	56	(回答者数) 42
○従業者評価実施期間	2024年 10月 15日		2024年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 24日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援は担当制ではなくチーム療育という考え方を軸に、職員それぞれが専門性を活かした支援が提供できる。	職員一人で考えるのではなく、毎支援後や定期的なカンファレンスで多職種からの意見を出しあえる機会を設けている。	それぞれの専門性を高めるために各種研修への参加や、日々のカンファレンスで情報や支援方針の共有を行いお子さまそれぞれに合わせた質の高い支援が提供できるよう取り組む。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	複数人利用時には活動できるスペースが狭く感じられる。	基準は満たしているが、活動内容によっては他児との距離が保てない場合がある。 個室の利用が活かされていない。	それぞれのお子さまが楽しみながら十分に活動できるよう、個室の利用や事前の環境設定の打ち合わせを念入りに行い限られたスペースを有効活用していく。